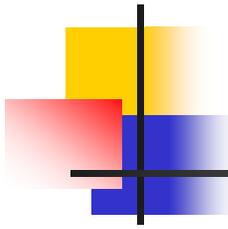


人口減少社会のキーワード —「女性」と「世界」—

京都大学大学院教授
落合恵美子



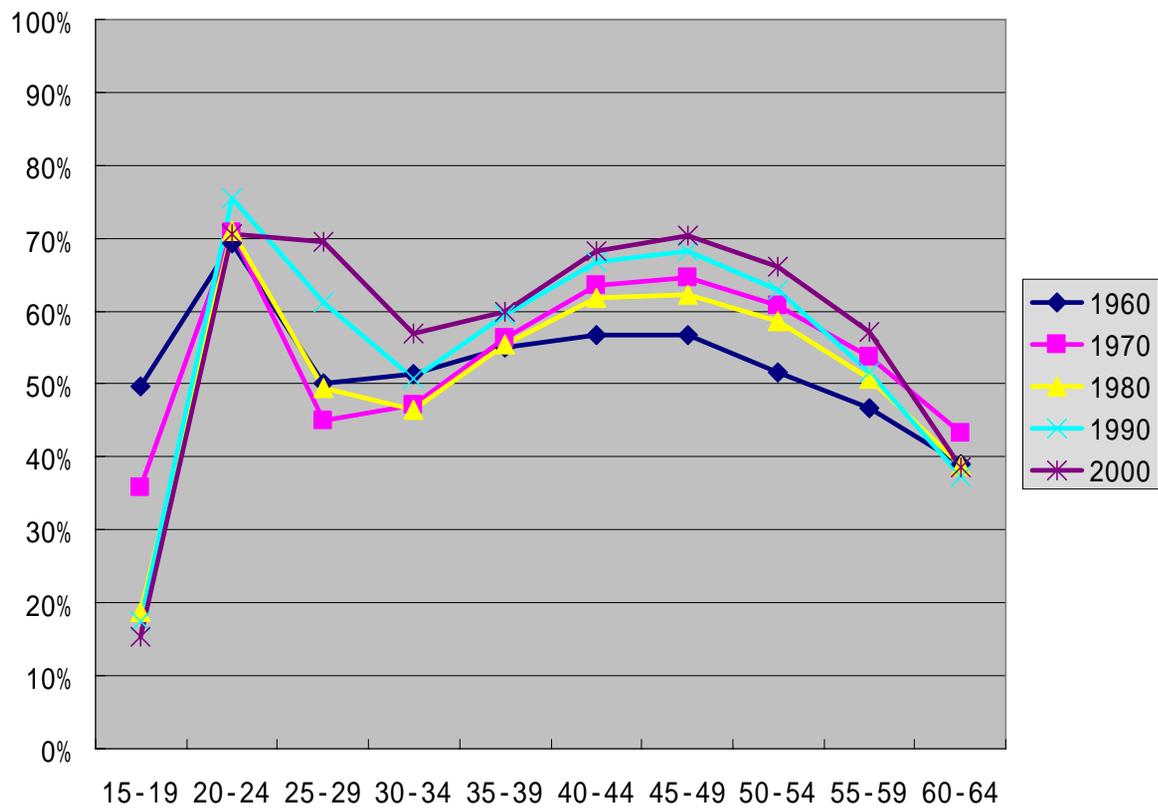
1 変わらない日本家族？

- 「日本はこの四半世紀の間、例外的に変化の乏しい社会であった」

(岩井八郎京都大学教授)

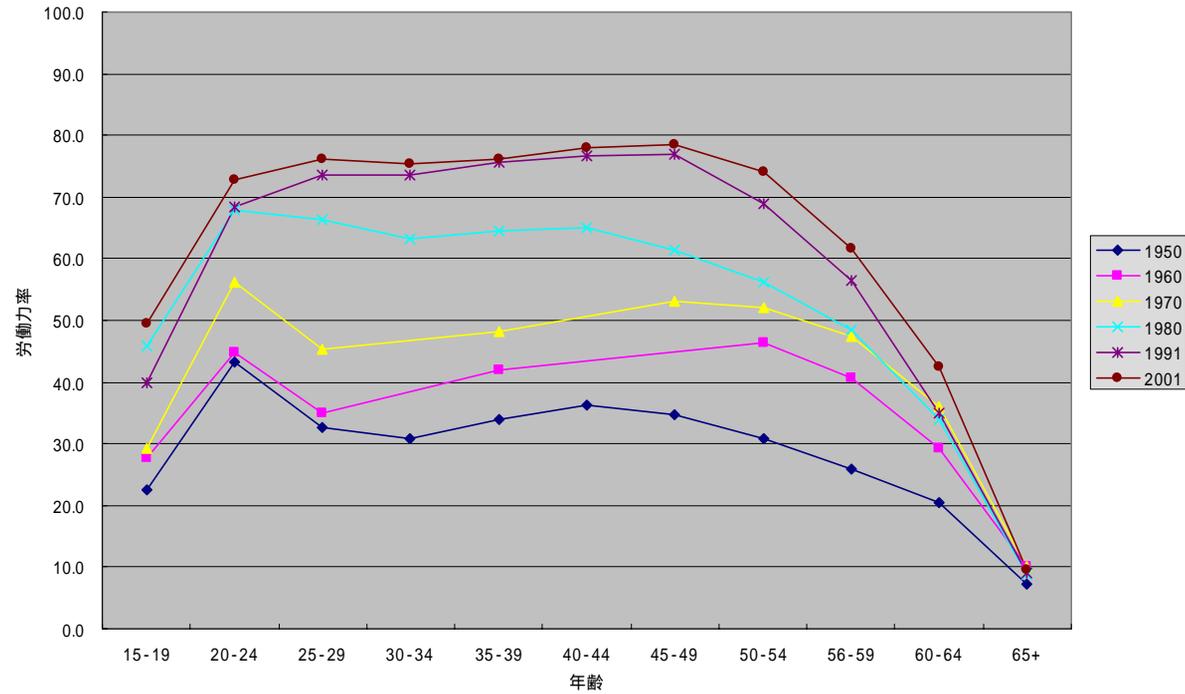
- 女性就労のM字型

日本



アメリカ

図7 欧米アジア諸国における年齢別女子労働力率の推移 (1)アメリカ合衆国
注 1960年は30 - 49歳、1970年は30 - 44歳の値を示してある。
資料: ILO, Yearbook of Labour Statistics

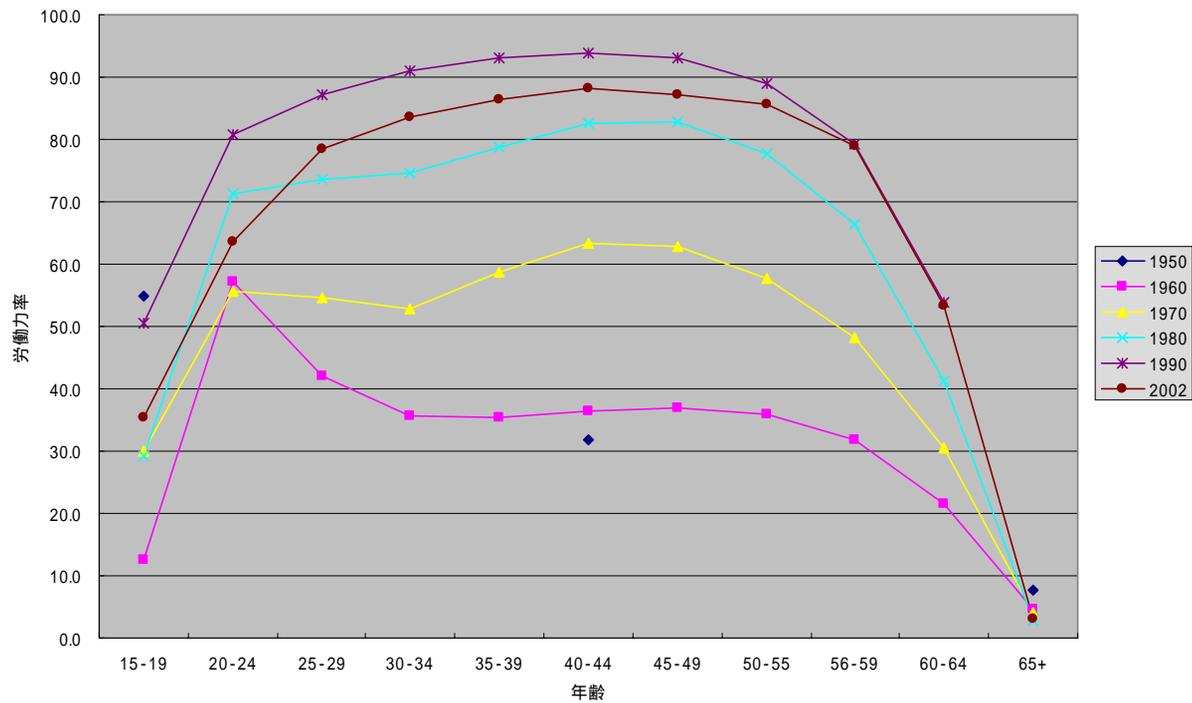


スウェーデン

図7 (3)スウェーデン

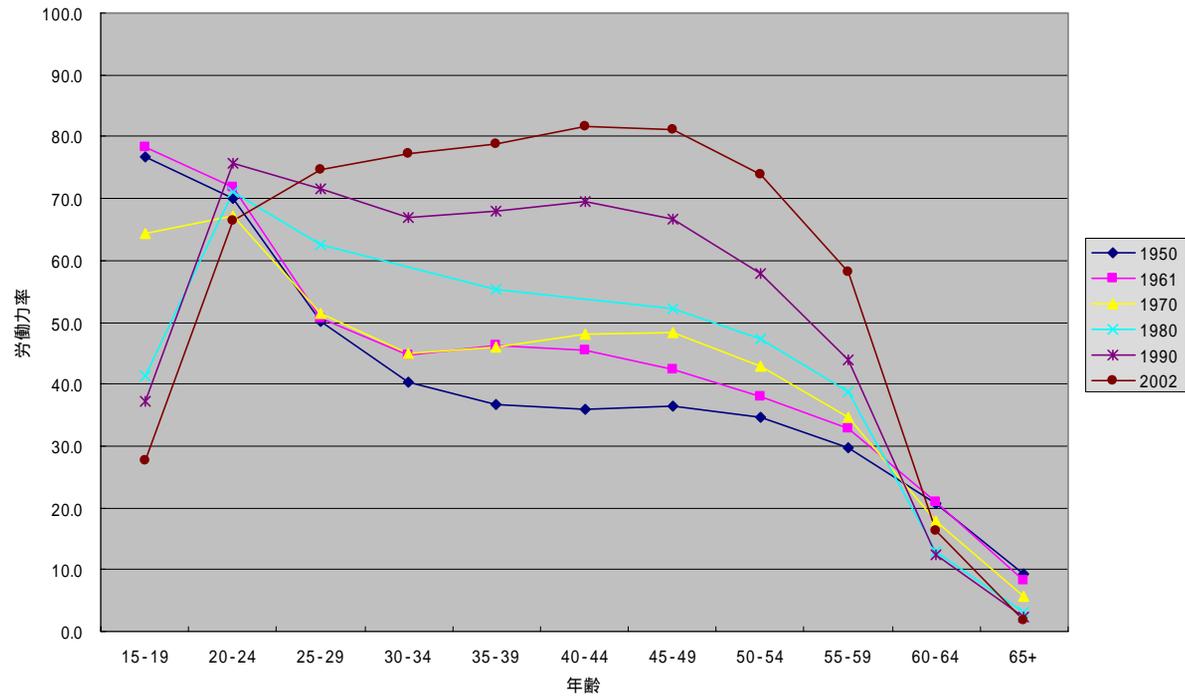
注：1950年は20 - 64歳、1960年は0 - 19歳、1990年と2002年は16 - 19歳の値を示してある。

資料：ILO, Yearbook of Labour Statistics



ドイツ

図7 (2)ドイツ
注：1980年は30 - 44歳の値を示してある。
資料：ILO, Yearbook of Labour Statistics



2 1970年代の選択

(下図は田中重人氏の博士論文より)

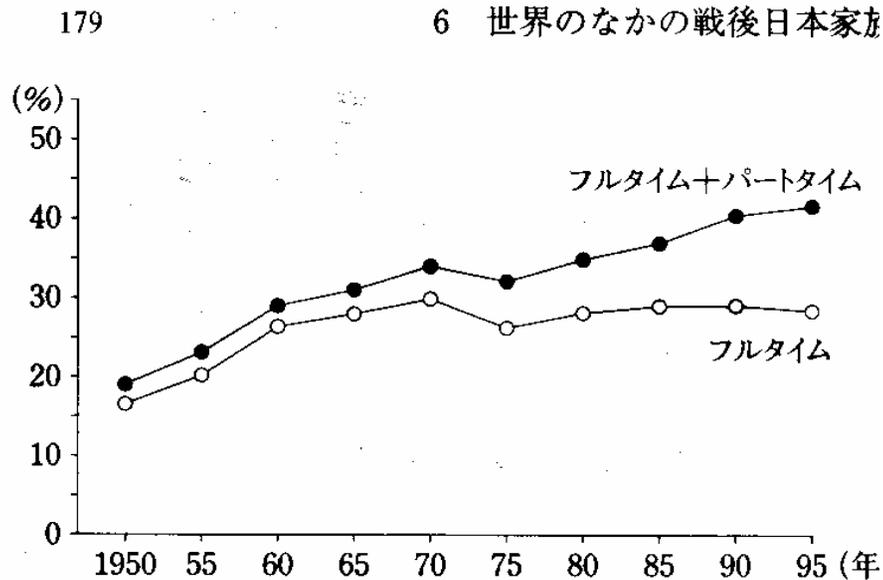
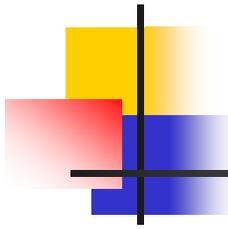


図6 日本における女性の市場労働部門内就業率の変化 (1951~95年)

総務庁統計局「労働力調査」〔田中 1999〕.

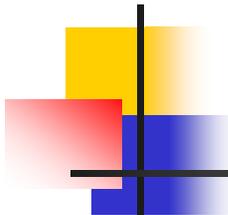
*

北 東 社 三 田 重 人



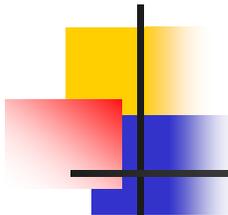
1970年代に何が起きたか？

- 石油危機 1973
- 日本経済のリストラクチャリング
雇用を維持したままでのコスト削減
維持したのは男性の雇用
女性労働の周辺化
- 女性 = 景気の調節弁 パート化



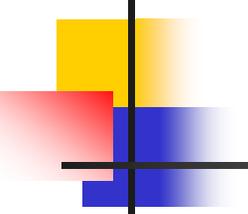
日本型福祉社会

- 1973 = 福祉元年 = オイルショック
- 「自助努力と家庭及び地域社会の連帯」
- 「家族単位モデル」の維持・強化
 - 大平内閣「家庭基盤の充実」
 - 「主婦の座」優遇策 1980年代
- 女性 = 福祉の担い手 パート化



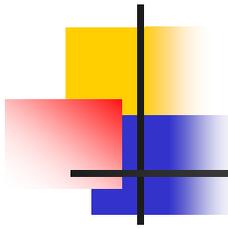
もうひとつの道—石油危機の後

- ヨーロッパ 日本より危機が深刻
- 男性の失業や経済力低下
- 「家族単位モデル」 「個人単位モデル」
- ワークフェア 女性就労により労働力増加
- 社会民主主義型
- 1975 国際婦人年



フィンランドの挑戦

- **福祉と効率の両立**
 - 子ども達の学習到達度世界一
 - 経済好調
 - 医療・教育無料
- **競争より平等を優先することで効率上昇**
 - 一人一人が活かされる社会
 - ワークフェア 女性の労働参加

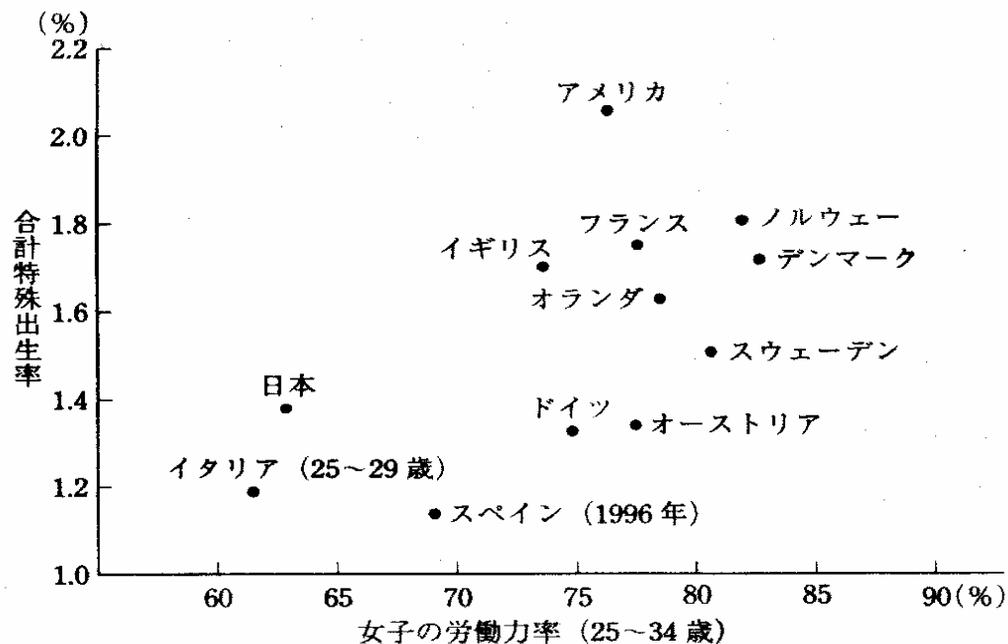


3 家族主義社会

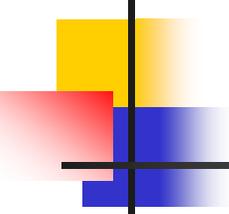
- 家族主義 = 子どもの養育や教育、高齢者のケアなど、福祉の全責任を家族 (= 女性) に負わせるシステム
- 南欧
- 日本
- 東アジア

家族主義と超低出生率

図序-2 女子労働力率と出生率との関係 (1998年)



(資料) OECD, *Labour Force Statistics*, 1999. 国立社会保障・人口問題研究所【人口の動向】2000年



家族主義は家族を壊す

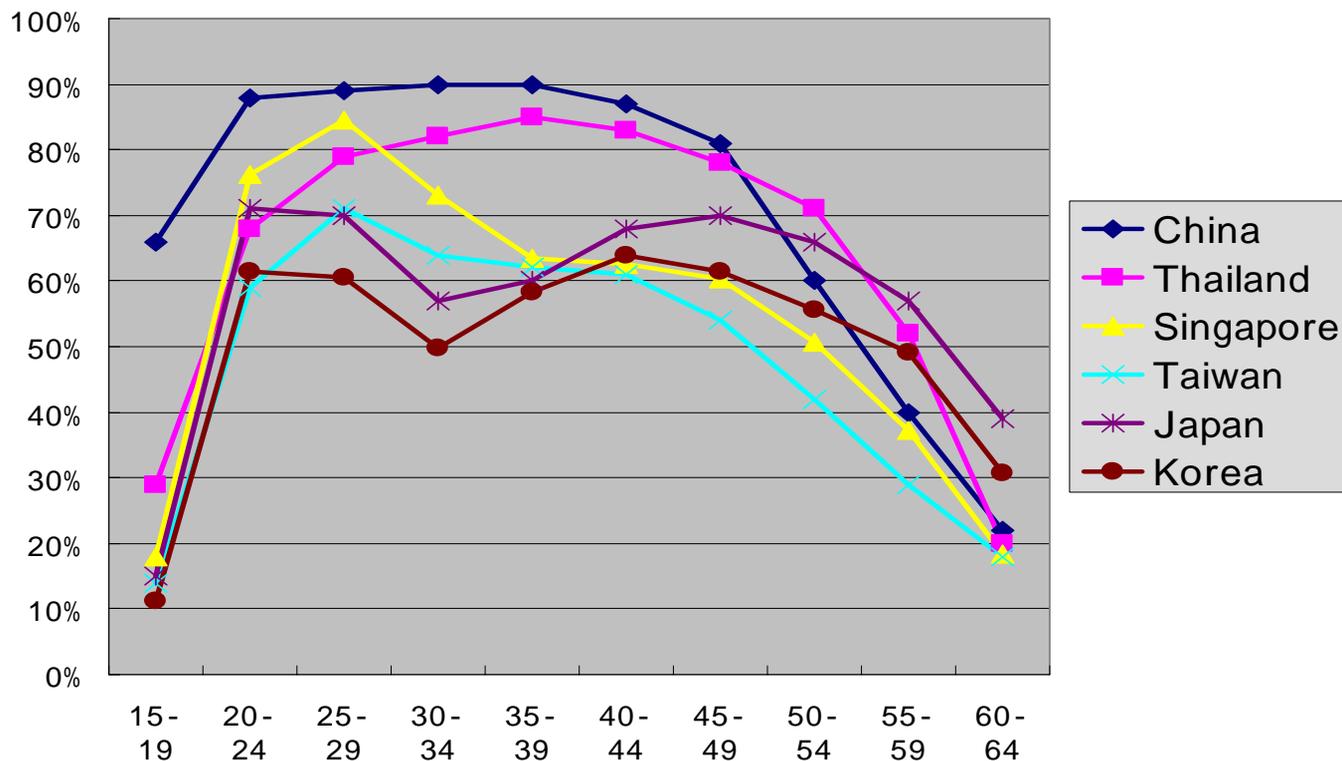
- 家族への過重な負担
- 日本の家族問題 特に深刻 なぜか？
 - (1) 乳幼児の子育て 育児不安・虐待
 - (2) 成人への移行 ひきこもり・家庭内暴力
 - (3) 高齢者介護 介護者の過労死

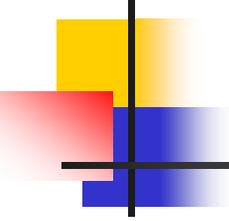
4 現代アジア家族の比較研究

育児支援ネットワークのパターン

	夫	親族	子守・ メイド	保育園・幼稚園など
中国				
タイ				(2歳以下: ×)
シンガ ポール				
台湾				(2歳以下: ×)
韓国				(3歳以下:)
日本			×	(3歳以下かつ 母が主 婦専業: ×)

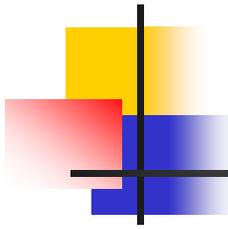
アジアの女性の働き方：3 類型





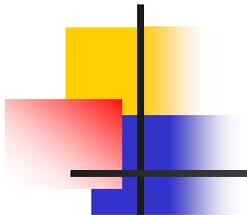
アジアの女性の働き方：3 類型

- 中国・タイ型 (台形型)
 - シンガポール・台湾型 (右肩下がり型)
 - 韓国・日本型 (M字型)
-
- 上の2つの類型では子育て期に共働き



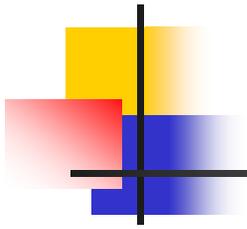
5 再生産のグローバル化

- 再生産労働の担い手が外国人に
家事・育児・介護・性・生殖
メイド・子守・介護士・看護師
セックスワーカー・妻
- 再生産のために外国に行く
教育移民



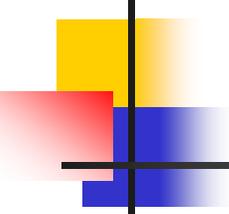
いびつな日本のグローバル化

- セックスワークと国際結婚のみ
メイド・看護師などを解禁に？
- 国際結婚
女性移民の半数は「妻」
離婚率の高さ 困難の放置



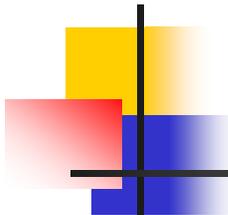
一國主義の限界

- 人を産むだけでなく、
人に来て貰える社会に
- 「女性」と「世界」が日本を救う！



参考文献

- 岩井八郎 2002 「ライフコース論からのアプローチ」石原邦雄編『家族と職業』ミネルヴァ
- 落合恵美子 2005 「世界のなかの戦後日本家族」『日本史講座第10巻 戦後日本論』東京大学出版会
- 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子・周維宏・斧出節子・木脇奈智子・藤田道代・洪上旭 2004 「変容するアジア社会における育児ネットワークとジェンダー 中国、タイ、シンガポール、台湾、韓国、日本」『教育学研究』71-4 .2-18頁.



参考文献

- 落合恵美子・石川義孝・リァウ・カオリー 2006刊
行予定「現代日本における移民の女性化と国際
結婚」石川義孝編『人口停滞・人口減少時代の
人口地理学の諸問題』(科学研究費成果報告
書)
- 田中重人 1999『性別分業の分析』(博士論文)
大阪大学大学院人間科学研究科